



C4Cだより

一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン
〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町1-45-1-302
TEL:06-6622-5645 / FAX:06-6621-7139
メール:community_4_children@yahoo.co.jp
HP:https://www.community4children.com/

＼タイ／ 4年ぶり！会員の皆さんと行く、ノンメック村訪問プログラムを開催しました！

2019年8月以来の4年ぶりとなる「東北タイ ノンメック村 ホームステイの旅」を8月3～7日に開催しました。全国各地から、小学生から社会人まで幅広い年齢層、参加動機も様々な7名の方々が参加くださいました！

今回の旅の目的は、ホームステイを通じて、村人と交流し、人々の暮らしと文化を体験することです。朝は、仏教寺院で食事の布施や托鉢から始まり、C4Cとノンメック村がこれまで行ってきた様々な活動を見て、聞いて、体験してもらいました。

田植えは、天候に恵まれ、適度な曇り空の下、多くの村人たちと一緒に泥まみれになりながら無事に終わりました。お互いに助け合う『結』に協力する村人に加えて、他県のネットワーク農民、地元大学看護学部の学生、有機農業研修に来たカンボジア人農民などが集いました。昼食会では地元の村人たちのバンドによる演奏が催され、とても賑やかな交流会になりました。最後の夜は、村人たちが集まり、長寿や旅の安全を願って一人一人の手首に白い木綿の糸を巻いてくれ、誰もが胸を熱くする時間でした。

参加者の皆さんは、どの活動にも積極的に、熱心に参加し、真剣に質問をしていました。このような機会が参加者の皆さんのこれからの人生や活動の糧になることを願っています。

4年ぶりに日本人を受け入れた村人たちは、コロナ禍がやっと過ぎ去ったことを実感し、これからの交流も楽しみにしています。新しい出会いが生まれ、これからもお互いに刺激を与えあえるようなプログラムを続けていきたいと思えます。(加藤)



◎有機農業を行う農家の訪問

- ・お互いの農場見学会を実施し、そこから地域マーケットにつながった話が印象的でした
- ・市場という営みが経済的なものだけでなく、社会的、文化的な意義を有するものになっていることも印象的でした
- ・みなさん、自らのアイデアをもって主体的に工夫をされていました。『やりたい』気持ちがストレートに伝わってきて感動しました

参加者の声

◎多くの村人と一緒に実施した田植え

- ・世代や国籍を越えてみんなが一体となって楽しめる取り組みだと思います
- ・初めての田植えなので面白かったです。みんなで一つのことをできるのは、コミュニティの結束力になりますね
- ・とても楽しかったです。説明を聞いて、村の人々がやってきたことと、その思いを感じることができました



◎身近な自然の素材を使った草木染め体験

- ・木からあんなに色がでるなんて、不思議でした。使った後の木にも配慮する、環境に優しい草木染。自然と共存しているようであたたかくていいなと思いました
- ・難しいところもあったけど、少し工夫をしてみたら、きれいなのがやっかよかった
- ・想像以上に綺麗でデザイン性の良いものになることに感動しました。村の特産品にするアイデアが素晴らしいと思いました

◎牛銀行の視察

- ・運営を委員会で行っており、牛を貸すだけでなく、生活困窮者への食糧支援など様々な取り組みに発展しているのが印象的でした



◎交流会

- ・踊りや歌のように体を動かして交流する文化があるっていいですね
- ・暖かく受け入れてくれて、どうもありがとうございます
- ・次回は、タイ語をもっと勉強してきますね



宮城 / 防災レシピカレンダー2024完成間近！防災ゲームも全国各地にお届け中！

みやぎ発防災レシピカレンダー、今年も作成中！

宮城学院女子大学ボランティアサークルFood and Smile!と東六郷・東部かあちゃん'ずの協力のもと、今年も「みやぎ発防災レシピカレンダー」(2024年版)を作成中です。

「食べること」はいつでも・誰にとっても必要なこと。カレンダーをお家にかけていただくことで、普段からお家にある食材で・カセットコンロで簡単に作れて・災害時にも役立つレシピを普段の食卓のメニューに取り入れていただき、自然と防災力アップにつながれば…との思いで初めて作成した昨年(2023年版)でしたが、大変ご好評をいただいて、2年続けて作成に取り組むことができました。

Food and Smile!の皆さんには2023年版と同様に防災レシピを考案いただき、東六郷・東部かあちゃん'ずの皆さんには案の段階でご試食いただき、東日本大震災当時の食事づくり等の記憶や普段台所で行っている調理の工夫などを元に、レシピをより良くするためのアイデアをいただきました。

今年も、カレンダーのご注文をくらしの学びサポートオフィスHumanBeingのホームページにて受け付けております(発送開始時期は11月下旬を予定)。カレンダーの売上の一部を、Food and Smile!&東六郷・東部かあちゃん'ずの活動費として寄付いたします。

早期ご予約特典として、11月15日までのご注文で1冊あたり100円をお値引きいたします。ぜひご注文をお待ちしております。

また11月25日には滋賀県内でI Do Caféを開催！Food and Smile!のメンバーをゲストに2024年版カレンダー掲載レシピの料理教室を開催します。ぜひご参加ください！



みやぎ発防災レシピカレンダー2024

●カレンダー仕様

- 掲載内容
 - ・2024年カレンダー
 - ・12か月分の防災レシピ(14品)
 - ・ポリ袋クッキングのきほん
 - ・「食」のおすすめ備蓄品リスト
- 壁掛けタイプ(A4中綴じ・掲示時A3サイズ)

●価格 1,500円(税込)

●ご注文方法・お届けについて

- 右のQRコードより、必要事項を入力
のうえご注文ください。
- ※送料として1件のご注文につき370円を頂戴
いたします。
- ※お問い合わせ等はHumanBeingへお願い
いたします。

<https://www.officehb.net/>



みやぎ発防災ゲームも全国各地でご活用いただいています

2021年に完成した、みやぎ発防災ゲーム 持ち出し品ゲーム「これ持ってぐ〜(Good)！」と防災すごろく「助け合ってご〜(Go)！」。より多くの方に知っていただき、ご活用いただくために、全国各地で体験会を開催してきました。

2023年1月には、HumanBeing主催のオンライン体験会を実施。遠くは沖縄県の島嶼部からのご参加もあり、オンライン開催ならではのメリットも感じることができました。また、以前ゲームをご購入いただいた団体様から「おさらいのために職員複数人で参加したい」というご連絡もいただき、アフターフォローの大切さについても考えるきっかけとなりました。

宮城県内でも地域住民向けの防災講座や学校の授業などでご活用いただいております、「毎月のように講座の依頼があり、ゲームを持って地域に出向いています」というお声もいただいております。

今後もより多くのかたに知っていただけるよう、普及啓発に努めていきたいと考えています。また、幅広い世代の方が取り組める、地域の防災力・福祉力を高めるツールの開発に引き続き取り組んでいきたいです。(菅原)

みやぎ発防災ゲーム

●ご購入について

これまで体験会へのご参加をご購入条件としておりましたが、体験会に替わる解説動画を作成中です。お問い合わせ等はHumanBeingへお願いいたします。
<https://www.officehb.net/>



持ち出し品ゲーム
これ持ってぐ〜(Good)！



防災すごろく
助け合ってご〜(Go)！

カンボジア / チュロイスナオ村のコミュニティ図書館が完成しました！



チュロイスナオ村にコミュニティ図書館の建設を目指し、2022年11月から2023年2月まで、日本とカンボジアにおいてファンドレイジング活動を開始しました。その結果、日本からは総勢46人の方より総額516,100円のご寄付をいただきました。カンボジアにおいても、多くの人たちの協力により、約35,000米ドルが集まりました。

2023年4月に着工し、5月末に完成しました。2階建てのカラフルな図書館は、2階に図書を置き、子どもたちが自由に読書や自習ができる場として活用します。1階は、チュロイスナオ村の村人たちが村議会の予算で幼稚園を作りました。普段は、教室や村人の会議場として使用します。

7時の始業前に来る子どもたちのために、6時30分から図書館を開けているそうです。また、図書や読書に親しみを持ってもらえるよう、速読や読書活動なども開催しています。今後の運営・管理については、小学校と地域が共同で行っていきます。持続的な運営を目指して、将来的に必要な修繕などの費用についても、寄付を集めたり、積み立てをするなどの計画を考えています。



日本から応援くださった皆さんへの完成報告会を開催しました。

7月30日(日)、【I Do Cafe Vol.18 ～子どもたちの「学びたい！」をかなえる！カンボジア・チュロイスナオ村コミュニティ図書館建設プロジェクト 完成報告会～】を開催し、15名がオンラインで集いました。

チュロイスナオ村から、住民1名と子ども会メンバー4名が参加し、話をしてくれました。住民のナロンさんは、「このようなプロジェクトは村でも初めての取り組みで、不安だったけれど、成功したこと、みんなが協力してくれたことがとても嬉しい。日本の皆さん、ありがとう。」と気持ちを語ってくださいました。また、子どもたちからは、「自分たちが願っていた夢が実現して嬉しい。ぜひ、村に来てください。村の郷土料理を食べてもらえるように、お料理を頑張っておきます！」と、話してくれました。

最後にナロンさんが伝えてくださった、「図書館の完成は出発点です。子どもたちのために、もっといっぱいやることはあり、たくさんのアイデアもあります。これから先も、いろいろな人と協力していきたいと思っています。」というメッセージからは、村や子どもたちへの思いが伝わってきました。



2024年2月、チュロイスナオ村を訪問するプログラムが開催決定しました！

子ども会の子もたちや村の人たちが、色々とアイデアを考えてくださっています。子どもたちが作る郷土料理を食べに、コミュニティ図書館を見に、一緒に、チュロイスナオ村に行きませんか？！ご参加、お待ちしております。

※詳細は、同封のチラシをご覧ください。



カンボジア / カンボジア人のタイにおける有機農業研修実施報告

8月5～10日、カンボジア人7名がタイを訪れ、草木染を中心に有機農業・環境教育研修に参加しました。参加したのは、カンボジアの連携団体であるクメール・コミュニティ・ディベロップメント(KCD)のスタッフ4名と農民3名で、それぞれが青少年育成プロジェクトに関わっています。

コロナ禍の4年間、オンラインでタイとカンボジアのスタッフ間交流を続け、カンボジア人がタイ人の有機農業実践者から有機農業や草木染の技術や知識を学ぶセミナーを何度か行ってきました。これは、アフターコロナに向けて、カンボジア農村の他の農民に伝えることを念頭において準備してきたものです。

滞在中は、タイ人スタッフの調整により、コンケン県ノンメック村を中心に、3か所の有機農業実践者の農場などを訪問し、草木染をはじめ、農場の運営、協働体制、商品化、市場などについて視察し、経験をシェアしました。

参加の若い農民は、草木染について「村の子どもたちと一緒にする活動として、技術や知識を学ぶことができてよかった」と振り返りました。KCDスタッフも「事業対象農村の婦人グループや子ども会とともに今回の研修内容を実施し、環境を学ぶ機会とするだけでなく、近い将来副収入に結び付けたい」と考えていました。

タイとカンボジアの農民・スタッフ交流を今後も続けていく予定です。(加藤)

※この事業は、公益財団法人大阪コミュニティ財団から『カンボジア農村における草木染を通じた環境教育と青少年育成事業』として助成金を受けて実施しました。



フィリピン / 自立生活&ライフスキルトレーニングを実施しました！

8月22～25日、日常生活に必要な社会的・対人的スキルを学び身につけることを目的に、ライフスキルトレーニングを実施し、しょうがいのある就学中の学生や青年層15人が参加しました。コロナ禍の数年間、感染拡大予防のため個別でプログラムの提供を行ってきましたが、今年度よりグループ活動を再開しました。

「対人関係」、「掃除や調理などの家事」、「市場ツアー&食品購入」、「庭・畑仕事」、「ケガや火傷への応急処置」、「火や電気の安全な取り扱い」について、実践・体験を通じた学びやスキルの習得を目指しました。3チームに分かれて取り組んだ4日間、参加者同士が互いに協力しながら、少しずつ仲間意識が芽生え、チームとして取り組むようになっていきました。市場での食材購入は、店員に注文したり会計をすることが初めての人も多く、スタッフが後方から一人ひとりのチャレンジをサポートしました。持ち帰った食材で自分たちで調理し、食材調達から調理、食事、片付けまでを体験できるプログラムづくりを行いました。(山田)



代表のつぶやき

関西圏で放送されたバラエティ番組である芸能人がこんなことを言っていました。「この業界にデビューして間もない今、辛く厳しいことも多くあります。でも学生時代にそれこそ死に物狂いで頑張った経験は、何くそ、あの頃を思い返せば乗り越えられると自分自身を奮い立たせ今を乗り切る引き出しになっています。」

私は何故か聞き流せませんでした。世界中の子どもたちの周りには、犯罪、虐待、貧困、ネグレクト、ハラスメントなどが身近に存在し、身に降りかかっています。さらに戦争や紛争が世界中で巻き起こり、命が奪われ、人権が踏みにじられる中で、子どもや若者は、なりたいたい自分に向かって没頭したり、部活の仲間と一心不乱にトップを目指す気持ちになれているのだろうかと言うことです。

おもわず「私は、子どもや若者にとってのロールモデルですか?」と心の中でつぶやいていました。皆さんは、いかがでしょうか?

非の打ち所のない人などいないでしょうが、せめてコロナ禍で失われた年月を自分のために取り戻そうとするエネルギーを、次世代のために使いませんか。